

コンクリートスラッジを有効活用しています

九州高圧コンクリート株式会社は、これまで産業廃棄物として処理していたコンクリートスラッジ（コンクリート製品の製造工程で出るセメント汚泥）を、ボイラーの排ガスで炭酸化処理し敷床材に混ぜることで、乾燥・除菌・脱臭の機能を付加した環境衛生資材「牛舎の敷床材 床カラッと」として商品化しました（2014年10月からの販売を予定）。

当社は、この事業を通じて、資源の有効活用、炭酸化処理過程でのCO₂排出量の削減や、牛舎の環境改善等に大きく貢献できると考えています。

九州高圧コンクリート株式会社



「床カラッと」の使用イメージ

おが屑3:床カラッと1

3 地域環境の保全

環境保全の推進

グループ各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づき適正な運用・管理に努めています。PRTR制度における指定化学物質の取扱量等の多くは、機器塗装で使用する塗料に含有しているキシレンやトルエンであり、この排出量等は業務の受注量等により変動が生じます。

また、PCB廃棄物は、2013年度は241台の無害化処理を行い、2014年3月末現在の保有量は、74台となっています。保管中のPCB廃棄物は、廃棄物処理法などに基づき厳重に保管・管理を行っています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P2参照) >
 PRTR制度の指定化学物質の物質ごとの取扱量等実績・
 発電設備のSOx、NOxの排出量等の実績 (グループ会社)

PRTR制度における指定化学物質の取扱量等 単位:トン

	2011年度		2012年度		2013年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		154.0		93.5		41.1
排出量(大気)	6	36.8	6	20.5	6	20.4
移動量		93.5		70.1		101.2

(注)PRTR制度の指定化学物質で届出が必要なデータを計上。

PCB廃棄物の保有状況等 (2013年度) 単位:台

	処理状況		保有状況	
	会社数	処理量	会社数	保有量
トランス	—	—	1	1
コンデンサ	3	6	—	—
安定器	2	235	2	45
合計	5	241	3	46

大気汚染物質の排出量 単位:千トン

	2011年度		2012年度		2013年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx排出量		1.9		1.4		1.1
NOx排出量	4	2.4	4	2.4	4	2.5

(注)ばい煙量の法的測定義務により、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

4 社会との協調

環境コミュニケーションの推進

グループ会社での環境活動情報については、本レポートをはじめ、九州電力ホームページにおいても公開しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P2参照) > **九電グループ環境経営**



九州電力ホームページ
 (環境への取組み (九電グループ環境経営))

用語集を
 ご覧ください

- 汚泥
- PRTR (制度)
- 指定化学物質
- キシレン
- トルエン
- PCB (ポリ塩化ビフェニル)
- 大気汚染
- SOx (硫酸化合物)
- NOx (窒素化合物)
- ばい煙
- 環境コミュニケーション
- 環境経営

地域における環境活動の推進

「九州ふるさとの森づくり」への参加や各社独自の地域清掃活動など、地域における環境活動に積極的に取り組んでいます。

2013年度は、これらの環境活動が認められ、(株)ジェイ・リライツに、北九州市から、道路美化活動に対する感謝状が授与されました。

「小規模集落応援隊」に参加しています

九州林産(株)

九州林産(株)では、地域貢献活動の一環として、2013年度は、計29回の清掃活動に延べ85名の社員が参加しました。

高齢化率が高い大分県由布市奥江地区においては、官民一体となって取り組む「小規模集落応援隊」の一員として、農業には欠かせない用水路の浚渫作業を継続的に行っており、この活動を通じて、奥江地区の皆さまとの交流が深まればと考えています。



用水路浚渫作業の様子

天神地区の清掃活動を行っています

九州通信ネットワーク(株)

天神地区の“魅力あるまちづくり”に取り組む「We Love天神協議会」とコラボレーションのもと天神地区の清掃活動を行っています。

清掃当日は、本社のある天神地区周辺の公園、道路のゴミ拾いを行い、天神地区の美化活動に努めました。参加者からは『働く街がきれいになると、嬉しい気持ちになる。』『また、参加したい。』『清掃する回数を増やしてほしい。』など、意欲的な意見が聞かれました。

今後も、このような環境ボランティア活動に積極的に取り組んでいきます。



天神地区清掃活動の様子

5

環境管理の推進

用語集を
ご覧ください

- 環境マネジメントシステム(EMS)
- ISO14001
- ISO14001準拠
- エコアクション21
- ISO簡易システム
- 環境保全協定

環境マネジメントシステム(EMS)の自立運用

グループ会社は、構築レベルを6段階に分類した九州電力のグループ会社独自の統一的な基準(「九電グループにおけるEMS構築基準」)に基づき、各社事業特性に応じたEMSを構築し、環境負荷を適切に管理する取組みを推進しています。

EMS構築状況(2014年3月末現在)

EMS構築レベル		会社数
第6段階	ISO14001認証取得 (全事業所で認証を取得している会社)	2
第5段階	ISO14001認証取得 (一部の事業所で認証を取得している会社)	5
第4段階	ISO14001準拠	7
	エコアクション21(EA21)認証取得	7
第3段階	ISO簡易システム	7
第2段階	文書による体制、目標管理、 遵守評価の実施	18

(注) 第1段階(環境管理体制の整備、環境方針の策定、環境目標の策定): 5社。
第1段階のEMSを構築中: 2社。

環境に関する法規制遵守の状況

グループ会社において、設備から排出するばいじん濃度が、地元自治体を実施した立ち入り測定で、公害防止に関する協定書の規定に基づく協定値を超過したため、該当設備の改善若しくはその使用方法の見直しを行うよう警告を受けました。これに対しては、原因及び改善対策*を、速やかに地元自治体に報告しました。今後は、このようなことがないように、地元自治体と締結している環境保全協定等の厳正な遵守に努めていきます。

*警告後の測定値や過去5年間の定期測定値が、全て管理値内となっていることから、設備内堆積物の一時的な飛散が原因と推定。このため、次回の停止作業時に設備内の点検清掃を行うことやそれまでの期間は監視強化を図ることを改善対策として報告。